

# 神奈川県微生物検査情報

<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/>  
神奈川県衛生研究所

## 第 295 号

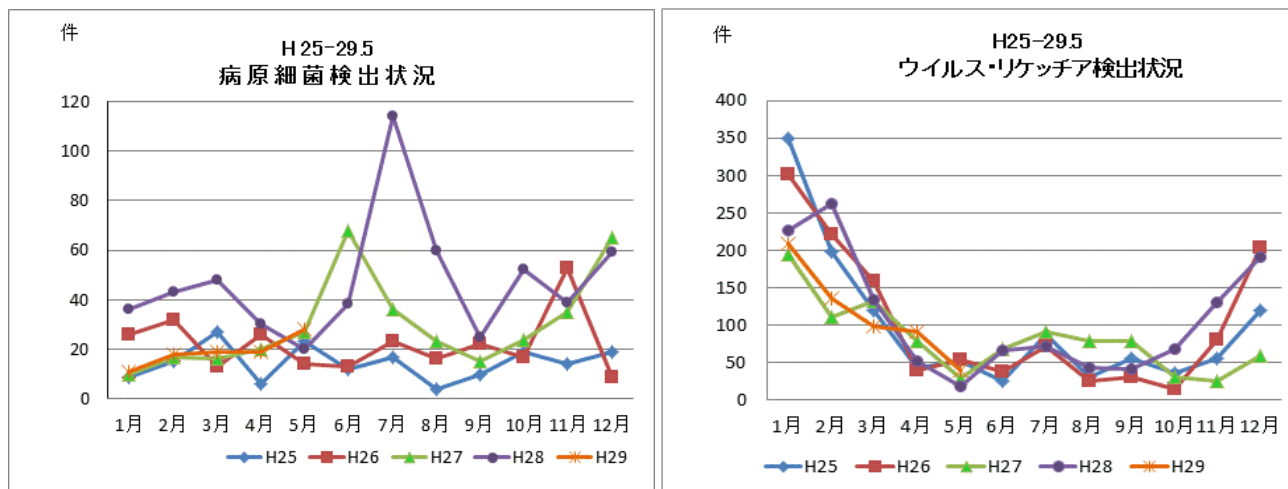
平成 29 年 7 月 20 日発行  
病原体検出は平成 29 年 5 月分

表 1 病原体検出状況(保健所等別)－平成 29 年 5 月

	感染症および食中毒に伴う行政検査並びに依頼検査											病原体定点				合 計			
	平塚保健福祉事務所	秦野センター 平塚保健福祉事務所	鎌倉保健福祉事務所	鎌倉保健福祉事務所 三崎センター	小田原保健福祉事務所	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	厚木保健福祉事務所	厚木保健福祉事務所 大和センター	横須賀市保健所	藤沢市保健所	茅ヶ崎市保健所	計	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹	その他の医療機関	
病原細菌	カンピロバクター ジェジュニ			1								1						1	
	A群溶血レンサ球菌												19					19	
	レジオネラ ニューモフィラ		1									1						1	
	クラミジア トラコマティス								1			1						1	
	マイコプラズマ ニューモニエ												6					6	
	計		1	1					1			3	25					28	
ウイルス・リケッチア	インフルエンザ A H 1 pdm09															1		1	
	インフルエンザ B											3						3	
	コクサッキー A 6										4	4						4	
	ライノ									1		1						1	
	ムンプス										1	1				1		2	
	アデノ 2												2			1		3	
	アデノ 3											5	5	3				8	
	アデノ (型未決定)										1	1	1					2	
	サイトメガロ									1		1				2		3	
	ヒトヘルペス 6									1		1				1		2	
	ヒトヘルペス 7									1		1						1	
	ロ タ										1	1						1	
	ノ ロ				2						2	2	6						6
	ア ス ト ロ												3						3
計			2						6	14	22	12			6		40		
合 計	1	3						1	6	14	25	37			6		68		

<検出状況>

○ 5月の病原体検出数は合計68件、細菌は28件、ウイルス・リケッチアは40件であった。



○ 病原体定点等の医療機関からの検査では、小児科定点から細菌が25件、ウイルスが12件、基幹定点からウイルスが6件検出された。

○ 保健所管内別の病原体検出状況は表1のとおりである。

表2 病原細菌検出状況(臨床診断別)―平成 29 年 5 月

	感 染 症														（食 有 症 中 苦 情 含 む ） 様	（依 保 菌 頼 者 ） 検 査	合 計	
	コ レ ラ	細 菌 性 赤 痢	腸 チ フ ス	バ ラ チ フ ス	腸 管 出 血 性 大 腸 菌 感 染 症	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	マ イ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	百 日 咳	細 菌 性 髄 膜 炎	菌 血 症	ペ ニ シ リ ン 耐 性 肺 炎 球 菌 感 染 症	レ ジ オ ネ ラ 症	淋 菌 感 染 症				そ の 他
検 査 検 体 数					1	24	3	7					2			14	1759	1810
カンピロバクター ジェジュニ																1		1
A群溶血レンサ球菌					19													19
レジオネラ ニューモフィラ												1						1
マイコプラズマ ニューモニエ								6										6
クラミジア トラコマティス																	1	1
計					19			6				1			1	1		28

- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者 24 検体中 19 検体から、A 群溶血レンサ球菌が検出された。血清型は、T1 が 6 検体、T3 が 3 検体、T4 が 1 検体、T12 が 4 検体、T25 が 1 検体、T28 が 2 検体、TB3264 が 2 検体であった。
- マイコプラズマ肺炎患者 7 検体中 6 検体からマイコプラズマ ニューモニエが検出された。
- レジオネラ症患者 2 検体中 1 検体からレジオネラ ニューモフィラが検出された。血清群は 1 群であった。
- 食中毒様事例（有症苦情含む）では、14 検体中 1 検体からカンピロバクター ジェジュニが検出された。
- 依頼検査では、1759 検体中 1 検体からクラミジア トラコマティスが検出された。

表3 病原細菌検出状況(月別)―平成28年5月～平成29年5月

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成28年累計	1月	2月	3月	4月	5月	平成29年累計
腸管出血性大腸菌(EHEC)		4	4	6	5	13	14	1	51						
毒素原性大腸菌(ETEC)				2					2						
腸管病原性大腸菌(EPEC)		1		1					4		2				2
腸管凝集性大腸菌(EA <sub>g</sub> EC)							1	1	2						
その他の大腸菌 ※		1	3	5	3	2	1	1	21						
サルモネラ O4群									3						
サルモネラ O7群			1						1		1				1
サルモネラ O8群	1								3						
サルモネラ O13群						1			1						
腸炎ビブリオ				1					1						
エロモナス ハイドロフィラ		1							1						
カンピロバクター ジェジュニ	2	9	2	25	5	5	3	1	68	3		1	1	1	6
カンピロバクター コリ	1					1			2						
黄色ブドウ球菌		1	6	1		1		2	13				2		2
ウエルシュ菌			2			13	1	1	18						
A群溶血レンサ球菌	10	9	6	6	2	4	12	7	95	5	12	17	13	19	66
エンテロコッカス フェシウム		2	2	5	1	1	4	39	122						
百日咳菌								1	2						
淋菌		1							1						
クラミジア トラコマティス	1	1	2	1		1			6	1	1	1	2	1	6
肺炎球菌	3								4						
マイコプラズマ ニューモニエ		7	8	5	8	8	2	2	49	1	2			6	9
レジオネラ属菌						1			1						
レジオネラ ニューモフィラ	1			2	1	1	1	3	13	1			1	1	3
その他の細菌	1	1	78						80						
合計	20	38	114	60	25	52	39	59	564	11	18	19	19	28	95

※:その他の大腸菌 : EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EA<sub>g</sub>EC以外の大腸菌 (病原性不明なもの)



表4 ウイルス・リケッチア検出状況(臨床診断別)―平成29年5月

検査検体数	ウエストナイル熱	つが虫病	デング熱	日本紅斑熱	急性脳炎	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎	手足口病	症風しん	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	インフルエンザ様	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	その他	(食中毒含む)	合計
	検査検体数		1	2		5		12	8	5	1		6	1	5		15	2	10
インフルエンザ AH1pdm09														1					1
インフルエンザ B														3					3
コクサッキー A6									4										4
ライノ																1			1
ムンプス					1								1						2
アデノ 2							2									1			3
アデノ 3							8												8
アデノ(型未決定)								2											2
サイトメガロ					2											1			3
ヒトヘルペス 6					1											1			2
ヒトヘルペス 7																1			1
ロタ								1											1
ノロ																		6	6
アストロ								3											3
計					4		10	6	4				1	4		5		6	40

- 急性脳炎患者1例(5検体)の咽頭ぬぐい液からムンプスウイルス、サイトメガロウイルスおよびヒトヘルペスウイルス6、尿からサイトメガロウイルスが検出された。
- 咽頭結膜熱患者12例中10例からウイルスが検出された。その内訳は、アデノウイルス2型が2例、アデノウイルス3型が8例であった。
- 感染性胃腸炎患者8例中5例から下痢症の原因となるウイルスが検出された。その内訳はアデノウイルス1例、ロタウイルス1例、アストロウイルス2例、アデノウイルスおよびアストロウイルスの同時検出1例であった。
- 手足口病患者5例中4例からコクサッキーウイルスA6型が検出された。
- 流行性耳下腺炎患者1例からムンプスウイルスが検出された。
- インフルエンザ様患者5例中4例からインフルエンザウイルスが検出された。その内訳は、インフルエンザウイルスAH1pdm09型が1例、インフルエンザウイルスB型が3例であった。
- 無菌性髄膜炎患者4例(15検体)中4例(5検体)からウイルスが検出された。その内訳は、1例目は便からアデノウイルス2型、2例目は咽頭ぬぐい液からライノウイルス、便からヒトヘルペスウイルス6、3例目は咽頭ぬぐい液からサイトメガロウイルス、4例目は咽頭ぬぐい液からヒトヘルペスウイルス7であった。
- 食中毒様事例(有症苦情含む)10検体中6検体からノロウイルスが検出された。

表5 ウイルス・リケッチア検出状況(月別)-平成28年5月～平成29年5月

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成28年累計	1月	2月	3月	4月	5月	平成29年累計
インフルエンザ AH1pdm09							1	1	263	1	1	2		1	5
インフルエンザ AH3	3				5	14	39	93	196	164	98	35	9		306
インフルエンザ B	2	1				1		2	166	8	25	37	39	3	112
R S						2			2	2					2
コクサッキー A2			4	6		2			12						
コクサッキー A4		4	21	3	1				29						
コクサッキー A5			3	2					5						
コクサッキー A6			1	4	6	14	8		34	6				4	10
コクサッキー A10		1	13	6	3	1			24						
コクサッキー A16			1	1	2	1			5						
コクサッキー B1								1	1						
コクサッキー B3			1	2		3			6						
コクサッキー B5		3	8	1	1	4			17						
エコー 3						2	3		5						
エコー 6					1	3		2	6	1					1
エコー 9						1	1	1	3						
エコー 11				3					3						
エコー 18			3	1					4						
エンテロ 71									1						
A型肝炎								1	2 (1)			1			1
E型肝炎											1				1
パレコ 3		8	6	3		4			21			3			3
ライノ		2	2	1	1	2			13	1		1		1	3
ムンプス	2	2	1	1	5	1	6		21	4	1		4	2	11
麻疹					8				8						
アデノ 1		1	1	1		1			9	1		1			2
アデノ 2	2	3	1				1	2	16	1	2	2		3	8
アデノ 3	1	2	1	2		1	1		11			1		8	9
アデノ 4	3			2				1	8	1					1
アデノ 5	1		1					1	5						
アデノ 19			1						1						
アデノ 37				1					1						
アデノ 41		1			1	1	1	2	6						
アデノ 46					1				1						
アデノ 54			2	1	1			1	5						
アデノ(型未決定)													3	2	5
単純ヘルペス 1													1		1
水痘・带状疱疹									1						
サイトメガロ				1					3					3	3
E B									1						
ヒトヘルペス 6				1				1	4					2	2
ヒトヘルペス 7		1							3					1	1
ロ タ							1	3	6	2	1	2	2	1	8
ノ ロ	4	37	1		4	9	68	79	374	16	6	11	30	6	69
サ ボ		1							1						
アストロ									1				4	3	7
デング	1(1)				1(1)	1(1)			3 (3)	1 (1)	1 (1)	3 (2)			5 (4)
オリエンチア ツツガムシ							1		1						
合計	19 (1)	67	72	43	41 (1)	68 (1)	131	191	1308 (4)	209 (1)	136 (1)	99 (2)	92	40	576(4)

海外渡航者数は(内数)として記載





表6 食品・環境由来の病原細菌検出状況—平成 29 年 5 月

検査検体数	病原細菌検出数および検査検体数													
	食 品						環 境							
	5月			1~5月累計			5月				1~5月累計			
	食中毒等 除去検査	その他	食中毒等 除去検査	その他	海水※	浴槽水等	食中毒等	その他	海水※	浴槽水等	食中毒等	その他		
検査検体数	1	117	21	29	423	23	33	74	5	6	33	81	52	67
腸管出血性大腸菌(EHEC)														
その他の大腸菌 ※2														
サルモネラ 04群														
サルモネラ 07群														
サルモネラ 08群														
サルモネラ 09群														
腸炎ビブリオ														
カンピロバクター ジェジュニ														
カンピロバクター コリ														
カンピロバクター ジェジュニ/コリ														
黄色ブドウ球菌														
セレウス菌														
レジオネラ属菌								1				1		
レジオネラ ニューモフィラ 1群								4				4		
レジオネラ ニューモフィラ 2群								2				2		
レジオネラ ニューモフィラ 3群														
レジオネラ ニューモフィラ 4群								3				3		
レジオネラ ニューモフィラ 5群														
レジオネラ ニューモフィラ 6群								2				2		
レジオネラ ニューモフィラ 7群														
レジオネラ ニューモフィラ 8群														
レジオネラ ニューモフィラ 9群														
レジオネラ ニューモフィラ 10群														
レジオネラ ニューモフィラ 11群														
レジオネラ ニューモフィラ 12群														
レジオネラ ニューモフィラ 13群														
レジオネラ ゴルマニイ														
レジオネラ ミクダデイ														
レジオネラ デュモフィー														
検出菌計								12				12		

※：河川水を含む。

※2： EHEC (VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EA<sub>gg</sub>EC以外の大腸菌（病原性不明なもの）  
プール水、エアコンの水等は、環境の「その他」に計上。

- 環境由来の浴槽水等 74 検体中 11 検体からレジオネラ ニューモフィラが検出された。その血清型の内訳は、1 群が 4 検体、2 群が 2 検体、4 群が 3 検体、6 群が 2 検体であった。また、1 検体からその他のレジオネラ属菌が検出された。